

Vol.27 No. 1 Sept. 2001

冊子から電子情報へ 広島大学の電子図書館の推進



附属図書館長
生物生産学部教授

宮澤 啓輔

図書館の歴史の中で最近の動向を見ると驚くべきものがあります。古くは、人間の思想・活動の記録を集積し、これを利用する場である図書館の起源は、文明が成立し、ある程度成熟し文字が発明された場所に求めることができます。時期は公的なコミュニケーションの手段が口伝から書写に変わった頃と考えられます。当初図書館は宗教や王朝の権威・権力に結びついて発達したとされますが、一般に市民が利用できる図書館が成立したと考えられるのはヘレニズム・ギリシャ以降と言われおり、現在まで歴史は約3000年に及ぶこととなります。その媒体は、古代の粘土、石、パピルス、竹、木等の天然物はありませんでしたが、主たるものは紙でした。印刷術の発明により写本から印刷図書へと技術的発展があり、単行本の他に学術団体が刊行する雑

誌資料の増加等、いくつかの変革はありましたが、基本的には図書館は書籍（冊子）を中心とした文献資料を収集し、これを利用する場でした。また情報の量はつい近年までは、書籍になったインデクスを肉眼でみて検索することが可能なレベルでした。ところが最近の社会環境、科学技術の発展に伴い、人間活動の記録である情報量は加速度的に増大、多様化し、ITの急速な展開に伴い、社会全般に大きな変革を起こしつつあります。資料も書籍以外に、音や映像資料も無視できなくなり、利用者のニーズも多様化しております。この中で一挙に図書館の電子情報化が進行し、情報の媒体が紙から電子媒体に移行しつつあります。

大学においてはその学術研究・教育の場という特性上、図書館は大学の成立初期から設置さ

目 次

冊子から電子情報へ 広島大学の電子図書館の推進	1
文献の探し方シリーズ 第8回 医学中央雑誌 WEB版	3
芸予地震顛末	6
2000年度附属図書館主要行事等報告	9
2000年度図書館統計	11
トピックス（2001年3月～2001年8月）	12

れ、発展してきました。近年の電子情報化の波の中で平成8年8月に学術審議会は「大学図書館における電子図書館的機能の充実・強化」の建議を公表しました。その中で「各大学の特色やニーズに応じた電子図書館的機能の強化・整備のビジョンを策定して、全学的な見地から大学の情報・集積・発信機能の充実を推進する」ことが指示されております。

上記の背景や建議を受けて広島大学附属図書館はこの数年来、電子図書館機能の強化を目指して構想を立て、その実現に向け一定の成果をあげて参りました。平成10年3月には「電子情報化構想」、平成12年12月には「電子的媒体サービスと21世紀の大学図書館」という報告書を出し、電子図書館構想を提案しております。前者においては上記学術審議会の建議を踏まえて、本学図書館の電子化をどのように推進するかの全体的構想を示しました。また後者においてはオンラインジャーナルと二次情報データベースに焦点を当て、学術情報環境整備の提案を行っています。これまでに「教科書コレクション」、「ス波文庫漢籍目録」等の図書館所蔵の貴重な書籍コレクションのデータベース化が実現し、また購入外国雑誌のオンラインジャーナル化が推進され、広く利用されております。特にオンラインジャーナルについては、冊子体入手するまでには刊行後かなりの日数がかかるのに対し、リアルタイムの情報収集が可能で、第一線の研究者や若い大学院生の研究の遂行には欠くことのできないものとなっております。しかし大学図書館をとりまく環境は一段と速度を速めて変化しております。特に外国雑誌の価格の高騰と財政の縮減による購入雑誌の急激な削減や次年度のオンラインジャーナル有料化は図書館にとって差し迫った緊急の課題となりました。このまま何ら手を打たないと、手にすることのできる学術情報が減少し、総合研究大学としての広島大学の学術情報環境が崩壊する可能性がでてきました。

そこで対策を今年度の図書館運営委員会の電

子情報化専門委員会で集中して討議しました。その結果、この問題は大学全体として抜本的な方法を導入しないと解決はできないという結論に達し、具体策を提案しました。その骨子は、電子ジャーナルをもつ雑誌の図書館集中化と電子化に必要な費用の全学共通経費化であります。これは構成員全員が平等に利用できる電子情報の性質からみてその費用は全員で負担する必要があるという考えに基づいております。

内容は これまで各部局で購入し、図書館に配架していた外国雑誌を図書館で一括購入する。

オンラインジャーナルと二次情報データベースを選定、購入し、「オンライン電子情報サービスシステム」を構築する。これらの経費は可能適正な共通経費として全学から控除する。

この提案が実現すればオンラインジャーナルと組み合わせて、遅れていた二次情報データベースを充実させ、使いやすく無駄のない学術情報システムを構築することが可能となります。また重複雑誌の整理により無駄を省き、大学全体としての経費とスペースの節約が期待できます。さらに24時間、研究室から図書館を利用できることとなり研究者にとっても、時間の節約、スペースの有効利用、コピーにかかる経費の節約が期待され、限られた資源を有効に利用することが可能となります。

このシステムが確立されるまでにはいくつかの過渡的な措置や準備が必要であり、また実現後にはその運営のための大きな努力を要します。例えば共通購入雑誌の選定作業、電子情報サービスシステムにアクセスするための基礎的講習の実施等が必要となります。

総合研究大学としての本学の電子図書館構築のためには、今後なすべき仕事はたくさんありますが、今回の提案が実現すれば、大学図書館の機能の一つである学術情報提供の面で充実されます。

広島大学の学術情報基盤整備のためにご協力をお願いする次第です。

(参考:藤野幸雄著、「図書館史・総説」, 勉誠出版 1999)



文献のさがしかたシリーズ 第8回

医学中央雑誌 WEB 版

「医学中央雑誌」は国内医学文献の抄録誌です。

収録文献は、国内で発行されている医学・歯学・薬学およびその関連領域から収集された約2,400の資料から採択されています。採択分野は生理学・生化学などの基礎分野から臨床医学の各分野、さらには獣医学・看護学・社会医学など広範囲におよんでいます。

収録期間は1987年～、集録文献数は2001/09/10現在 3,590,372件 です。

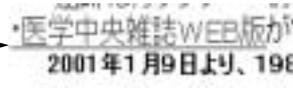
1) 開始

図書館ホームページの



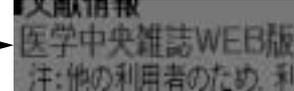
をクリック。

次に



をクリック。

それから



をクリック。



「ENTER」をクリック。



「BASIC」または「BASIC MODE」をクリック。

2) 探す



「検索キーワードを入力してください」の後に思いついたキーワードや著者名などを入力して「検索」をクリックします。

最初から検索条件が決まっている場合には「検索対象の限定」で条件の限定ができます。

なお、ADVANCED MODE はまだリリースされていません。

3) 見る

2001158582

図書室業務のスリム化とパワーアップ(会議録)

Author

和気たか子(日本病院会), 中村雅子, 山室眞知子, 橋田圭介, 飯田育子

Source

日本病院会雑誌(0385-9363)48巻2号 Page279-298(2001.02)

ヒット件数が多すぎた場合などは他のキーワードを組み合わせるか、絞り込み項目による絞り込み検索を行うことができます。

他のキーワードを組み合わせる場合には「現在の結果内で検索」をチェックしてからキーワードを入力して「検索」をクリックします。

絞り込み項目による絞り込み検索をする場合には「絞り込み検索」をクリックすると絞り込み検索画面が表示されます。

また、文献の詳細情報を見たい場合にはタイトルの上の文献番号をクリックするか、文献のチェックボックスをチェックして「詳細表示」をクリックして下さい。

4) 印刷、ダウンロード、メール転送する

印刷、ダウンロード、メール転送する場合には必要に応じて「出力設定」で出力内容等の指定を行って下さい。

▼出力設定(詳細表示・ダウンロード・メール転送)

出力内容
<input type="button" value="全項目"/>
出力形式
<input type="radio"/> 標準形式 <input type="radio"/> タグ付き形式 <input type="radio"/> 医中誌CD形式 <input type="radio"/> Medline形式 <input type="radio"/> Refer/BibliX形式
検索式の出力
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
ソート順
第一条件 <input type="button" value="文献番号逆順"/> 第二条件 <input type="button" value="文献番号逆順"/>
ダウンロード/メール転送フォーマット
<input type="radio"/> 改行区切り <input type="radio"/> CSV方式(“区切り”) <input type="radio"/> CSV方式(区切り)
ダウンロード/メール転送ファイル形式
<input type="radio"/> PC <input type="radio"/> MAC

印刷する場合にはブラウザの印刷機能を使って印刷して下さい。

ダウンロードする場合には「ダウンロード」をクリックして下さい。

メール転送する場合には e-mail アドレスを入力して「メール転送」をクリックして下さい。

印刷のための用紙、ダウンロードのためのフロッピーディスクはあらかじめ用意して下さい。

5) 終わる



「LOGOUT」をクリック。

「利用終了」をクリック。

一度に利用できる人数に制限がありますので利用後は速やかに LOGOUT、利用終了して下さい。

6) 利用の制限

このシステムは露地区限定で利用できます。なお、学外の方は利用できません。

芸予地震顛末

平成13年3月24日に発生した芸予地震は、附属図書館にも大きな損害を与えました。その被害状況は図書館ホームページの「NEWS」欄でも速報しましたが、ここでは災害復旧の様子を報告します。

3月24日（土）

- ・15時28分芸予地震発生。中央図書館、東図書館、西図書館は閉館日で無人。医学分館は開館していた。
- ・16時頃中央図書館現場調査。

中央図書館

館員2名で対応

- ・1階転落図書の復旧作業完了。

医学分館

通常より20分早めて16時10分に閉館。

3月25日（日）

- ・午前中各館の詳細な被害状況調査（ ）（東千田分室は被害なしが判明）。
- ・復旧作業のため東図書館、西図書館を26日～29日まで閉館、医学分館を26日～28日まで閉館、中央図書館を26日～27日まで部分開館を決定。
- ・復旧作業にはアルバイト、業者等を投入することとした。

中央図書館

11時～16時……館員16名で対応。

2階転落図書の原状復旧作業 完了。

3階転落雑誌の原状復旧作業（全体の3割が復旧）。

3月26日（月）

中央図書館

午前中……館員18名で対応。

- ・3階転落雑誌の原状復旧作業 完了。
- ・地下2階転落雑誌、図書の原状復旧作業 完了。

西図書館

13時～14時……館員23名で対応。

- ・2階開架転落図書の原状復旧作業 完了。

- ・1階開架転落図書の原状復旧作業 完了。

14時～ ……館員5名で対応。

- ・1階書庫転落雑誌原状復旧作業。

東図書館

14時～16時……館員22名で対応。

- ・2階転落図書の原状復旧作業 完了。
- ・3階転落図書の原状復旧作業 完了。

16時～ 館員4名で対応。

- ・3階転落雑誌の原状復旧作業。

医学分館

終日……館員8名で対応。

- ・転落図書の原状復旧作業 完了。

- ・傾倒書架の雑誌12,000冊の床への移動作業。

3月27日（火）

中央図書館

全面開館。

西図書館

終日……館員7名、アルバイト11名で対応。

- ・1階書庫転落雑誌の原状復旧作業 完了。
- ・1階書庫転落図書の原状復旧作業 完了。

東図書館

午前中……館員17名で対応。

- ・3階転落雑誌の原状復旧作業 完了。
- ・1階書庫転落雑誌の原状復旧作業 完了。
- ・1階書庫転落図書の原状復旧作業 完了。

医学分館

終日……館員8名、アルバイト2名（午後のみ）で対応。

- ・傾倒書架の雑誌の床への移動作業 完了。

3月28日（水）

西図書館

終日……残務整理。

東図書館

終日……残務整理。

医学分館

部分開館（1階のみ）。

3月29日(木)

西図書館

終日.....残務整理。

東図書館

全面開館。

また、復旧作業さなかの3月29日、小冊子「芸予地震による被災直後の状況」が附属図書館芸予地震被災記録班によりまとめられました。これには被災翌日の3月25日、館員により撮影された被害状況の写真数十枚の中から、19点が納められています。

3月30日(金)

西図書館

全面開館。

さらに、第28回国立大学図書館協議会中国四国地区協議会(平成13年4月27日：広島市)で、「中国四国地区国立大学図書館大規模自然災害発生時の連絡体制等に関する申し合わせ」が成立しました。

4月4日(水)

医学分館

傾倒書架の補強修理 完了。

この申し合わせでは、中国四国地区の国立大学図書館のいずれかが大規模な地震・水害・火災に遭遇した場合に、被害状況等の把握および連絡などを円滑にするため、被害を受けなかった近隣の中四国国立大学図書館が「臨時連絡館」となって、被害状況や復旧状況の情報収集、支援策の調整等を行うことが取り決められています。

4月5日(木)～4月8日(日)

医学分館

床に移動した雑誌と過去の移管雑誌との混配作業(約40,000冊)。

なお、復旧作業中に、多くの方々から励ましの言葉を頂きました。ありがとうございました。

4月9日(月)

医学分館

全面開館。

(西図書館 川上)

()地震被害状況

中央図書館

地下2階	雑誌が書架から転落：約100冊。
1階	ライブラリーホール入口付近壁面(北側、南側)ひび割れ2箇所。 展示の化石損傷(契約課で調査済み)。 図書が書架から転落：約100冊。
2階	図書が書架から転落：約110棚、約3,300冊。 中央部空調吹き出し口破損：10箇所。 西側男子トイレ入口付近壁面ひび割れ。 同トイレ内壁面ひび割れ。 東側女子トイレ入口付近壁面ひび割れ。 同トイレ内壁面ひび割れ。
3階	雑誌が書架から転落：約542棚、約9,700冊。 掲示板転落：1箇所。 中央部空調吹き出し口破損：14箇所。 東側グループ閲覧室(308号室)空調吹き出し口破損。 西側男子トイレ入口付近壁面ひび割れ。 同トイレ内壁面ひび割れ。 東側女子トイレ入口付近壁面ひび割れ。
階段室	西側階段室1階から2階の壁面ひび割れ：2箇所。 東側階段室1階から地下1階の壁面ひび割れ。
外回り	玄関3階部分壁面ひび割れ。

東図書館

1階	書架2連セットのものが2台傾倒。 雑誌・図書が書架から転落：約120棚、約3,200冊。
2階	図書自動貸出装置（ABC）が転落（70cm高の台から）。 図書が書架から転落：約67棚、約2,000冊 空調吹き出し口カバー落下：1箇所。
3階	片面書架2連1台転倒。 図書が書架から転落：約101棚、約3,000冊。 雑誌が書架から転落：約185棚、約3,300冊。
屋上	給水管（上水）欠損。

西図書館

1階	機械室の蛍光灯破損：1箇所。 書庫の雑誌が書架から転落：約1,110棚、約20,000冊。 開架の図書が書架から転落：約98棚、約3,000冊。
2階	マイクロフィルムキャビネット転倒：2台。 図書自動貸出装置（ABC）が転落（70cm高の台から）：1台。 衝立転倒。 図書が書架から転落：約341棚、約10,200冊。

医学分館

1階	書架側板ズレ：1箇所。 雑誌が書架から転落：約85冊。
2階	雑誌が書架から転落：約900冊。 雑誌書架5列傾倒で危険な状態となる（12,000冊の移動が必要となる）。 スチール製ガラス戸棚転倒大破 分館長室壁面のひび割れ：2箇所



中央図書館二階 情報検索コーナー



中央図書館三階 雑誌の転落情況

2000年度附属図書館主要行事等報告

行事等

00. 4. 10 - 11 平成12年度図書館ガイダンス実施
 00. 5. 8 東千田分室開館時間延長及び土曜日開館開始
 00. 5. 9 「日野化石コレクション」披露会（ライブラリーホール）
 00. 5. 29 西図書館3階ピアサポート開所式
 00. 6. 14 - 20 「二人の学士院賞受賞者ゆかりの書物展」（中央図書館展示コーナー）
 00. 7. 1 東千田総合校舎竣工式及び新東千田分室開館
 00. 7. 4 西図書館3階マルチメディアフロア開設披露式（西図書館）
 00. 9. 15 平成12年企画展「広島城の謎展 - 築城期の姿を追って」出陳
 00. 9. 20 中央図書館及び医学分館にカラーコピー機設置
 00. 9. 20 - 22 目録システム地域講習会（中央図書館）
 00. 9. 25 - 27 電子ジャーナル・データベース講習会（ライブラリーホール）
 00. 10. 1 中央図書館書庫内時間外利用開始
 01. 1. 23 「電子的媒体サービスと21世紀の広島大学附属図書館」策定
 01. 3. 24 芸予地震により図書の下等甚大な被害を被り各館復旧作業に追われる。

会議等（館内）

- 附属図書館運営委員会 202(00. 4. 25) / 203(00. 7. 11) / 204(00. 10. 3) / 205(00. 11. 28)
 / 206(01. 1. 23) / 207(01. 3. 28)
 医学分館運営委員会 1(00. 6. 21) /
 図書館電子情報化専門委員会 11(00. 10. 3) / 12(00. 11. 7) / 13(00. 7. 21)
 人文・社会科学特別図書選定委員会 00. 4. 25
 自然科学特別図書選定委員会 00. 4. 25

会議等（学外）

00. 4. 27 第48回中国四国地区大学図書館協議会総会（鳥取大学）
 00. 4. 28 第27回国立大学図書館協議会中国四国地区協議会（鳥取大学）
 00. 5. 17 - 18 第71回日本医学図書館協議会総会（秋田市）
 00. 5. 23 平成12年度国立大学附属図書館事務部課長会議（東京医科歯科大学）
 00. 6. 14 平成12年度広島県大学図書館協議会総会（広島市立大学）
 00. 10. 12 - 13 平成12年度国立大学図書館協議会中国四国地区協議会実務者会議（広島大学）
 00. 10. 19 - 20 平成12年度日本医学図書館協会中国四国地区総会（広島大学）
 00. 11. 10 広島県大学図書館協議会創立30周年記念式典並びに祝賀会（メルパルク広島）
 00. 11. 13 - 15 2000年京都電子図書館会議（京都大学）
 00. 11. 29 平成12年度第2回国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会（京都大学）
 00. 11. 29 平成12年度第3回国立大学図書館協議会理事会（京都大学）
 00. 12. 4 平成12年度国立大学中国四国地区附属図書館文部省ヒヤリング（岡山大学）
 00. 12. 5 平成12年度中国四国地区国立大学附属図書館事務部課長会議（岡山大学）
 01. 2. 15 平成12年度大学図書館情報化推進会議（一橋大学）
 01. 2. 20 NACSIS - CAT/ILL 講習会担当者会議（国立情報学研究所）
 01. 3. 15 平成12年度学術雑誌目次速報データベースに関する連絡会議（国立情報学研究所）

研修等

- 00 . 4 . 11 - 14 平成12年度中国地区新採用研修（広島市）
- 00 . 8 ~ 平成12年度広島大学語学研修
- 00 . 7 . 10 - 27 平成12年度大学図書館職員長期研修（文部省）
- 00 . 9 . 19 - 21 平成12年度初任係長研修
- 00 . 9 . 19 - 21 平成12年度第1回広島県大学図書館協議会研修会（比治山大学）
- 00 . 9 . 26 - 27 中国四国地区政府調達契約研修会
- 00 . 9 . 18 - 29 平成12年度総合目録データベース実務研修（国立情報学研究所）
- 00 . 10 . 11 目録システム入力業務担当者説明会（国立情報学研究所）
- 00 . 10 . 19 平成12年度第1回附属図書館館内研修会（医学部広仁会館）
- 00 . 10 . 20 平成12年度第2回広島県大学図書館協議会研修会（広島文教女子大学）
- 00 . 10 . 25 - 27 第41回中国四国地区大学図書館研究集会（徳島大学）
- 00 . 11 . 13 - 16 平成12年度情報ネットワーク担当職員研修（国立情報学研究所）
- 00 . 11 . 17 国立情報学研究所新CAT多言語対応説明会（九州大学）
- 00 . 11 . 27 国立情報学研究所新CAT/ILLシステム説明会（京都大学）
- 00 . 12 . 7 - 8 第13回国立大学図書館協議会シンポジウム（名古屋大学）
- 01 . 1 . 25 - 26 中国地区オンライン研修会 STM/JOIS 入門・基礎コース
- 01 . 3 . 5 平成12年度第3回広島県大学図書館協議会研修会（広島大学）
- 01 . 3 . 8 - 9 平成12年度教養的教育の全学研修会（グリーンピア安浦）

刊行物

広島大学附属図書館所蔵「森戸辰男関係文書 片山・芦田政権下「閣議」関係文書」
平成12年10月刊
附属図書館利用案内 2000年版
附属図書館報 リエゾン Vol.26

見学者（来訪順）

韓国峰南大学総長、益田高校PTA、祇園北高校、国泰寺高校、韓国麗水大学、ピッツバーグ大学、トムスク工科大学、祇園北高校PTA、安芸府中高校PTA、東大法学部、フルブライト・メモリアル基金アメリカ人教育者、UCLA East Asian Library、広大附属小学校、河村建夫文部科学副大臣、佐伯区八幡区社会福祉協議会、一橋大学、岡崎国立共同研究機構、京都大学、小樽商科大学、長崎大学、福井大学、名古屋大学理学部、一橋大学商学部、富山医科薬科大学、三重大学、岡山大学、東京工業大学、筑波大学、九州芸術工科大学、奈良教育大学、奈良女子大学、国際日本文化研究所、東京大学東洋学文化研究所、徳島大学、名古屋大学情報文化学部、北海道大学、千葉大学



2000年度図書館統計

1. 蔵書統計

	蔵			書		
	図書(冊数)			雑誌(種類数)		
	和漢書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計
中央図書館	1,180,096	749,074	1,929,170	17,262	12,831	30,093
東図書館	175,316	146,361	321,677	4,544	4,577	9,121
西図書館	296,368	237,447	533,815	1,416	2,465	3,881
医学分館	97,764	104,327	202,091	3,982	4,491	8,473
東千田分室	16,610	98	16,708	237	2	239
合計	1,766,154	1,237,307	3,003,461	27,441	24,366	51,807

2. 年間受入冊数

	蔵			書		
	図書(冊数)			雑誌(種類数)		
	和漢書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計
中央図書館	25,376	11,810	37,186	4,908	3,775	8,683
東図書館	2,774	2,522	5,296	1,034	798	1,832
西図書館	5,218	3,279	8,497	498	695	1,193
医学分館	2,182	2,472	4,654	1,113	968	2,081
東千田分室	721	27	748	76	0	76
合計	36,271	20,110	56,381	7,629	6,236	13,865

3. 入館者数

	入館者数
中央図書館	387,846
東図書館	96,535
西図書館	281,888
医学分館	153,966
東千田分室	41,767
合計	962,002

4. 貸出冊数

	学生	教職員	学外者	計
中央図書館	86,284	6,307	1,041	93,632
東図書館	29,080	1,931	91	31,102
西図書館	36,107	1,982	135	38,224
医学分館	16,702	2,512	328	19,542
東千田分室	4,493	353	189	5,035
合計	172,666	13,085	1,784	187,535

5. 文献複写及び現物貸借

	文献複写(件)		現物貸借(件)	
	受付	依頼	貸出	借受
中央図書館	6,651	8,566	1,788	1,379
東図書館	4,480	3,293	188	73
西図書館	3,629	2,135	388	250
医学分館	10,213	7,573	72	264
東千田分室	24	229	140	269
合計	24,997	21,796	2,576	2,235

6. 参考業務統計

	文献所在	事項調査	利用指導	その他	計
中央図書館	3,150	657	2,940	28	6,775
東図書館	1,160	665	1,503	0	3,328
西図書館	3,132	112	1,780	0	5,024
医学分館	2,910	460	1,462	0	4,832
東千田分室	662	0	0	0	662
合計	11,014	1,894	7,685	28	20,621

トピックス

(2001年3月～2001年8月)

貴重資料室・和装資料室を薫蒸

3月23日(金)～3月26日(日)にかけて貴重資料室と和装資料室を薫蒸した。

芸予地震により各地で被害

3月24日(土)13時34分頃発生した芸予地震により、西日本各地で被害が発生した。本学図書館においても、各図書館で図書落下等の被害が発生し、3日～3週間程度の部分閉館となった。

主な被害状況 図書の落下：合計7万冊

壁面のひび割れ：13カ所

機器等の転落及び転倒：10件

書架の変形：5件

新入生対象の図書館ガイダンスを実施

4月5日～6日新入生を対象に図書館ガイダンスを実施した。ビデオで図書館の利用方法を説明し、同時に利用者登録を行った。約2130名の参加があり、96%の出席率であった。

教養ゼミで、図書館利用案内を実施

4月11日～5月18日

教養的教育教養ゼミ(1年生前期2単位、必修科目)で、「図書館利用案内」を実施した。全32コマで、1704名が参加。

中国四国地区大学図書館協議会総会

4月26日～27日(於メルパルク広島)

中四国地区の国公立大学図書館等60機関134名参加。

広島大学附属図書館所蔵教科書コレクション

画像データベースを公開 5月14日

中央図書館に所蔵されている教科書の中から、江戸時代の寺子屋で使用された「往来物」から

昭和26年までの中で主要な約5,600冊を収録。そのうち、江戸期から明治18年までを全頁、以後のものは原則として部分画像化している。

館内職員研修会 6月13日

生和総合科学部教授による講演「独立行政法人化問題の動向について」

国立大学図書館協議会賞を受賞 6月28日

1989年にスタートした斯波文庫漢籍目録編纂事業は、1998年春に至りようやく、完成をみた冊子体目録の刊行と併せて電子版目録も完成させ、図書館ホームページに掲載した。この功績により、同賞を受賞した。

宗祇五百年遠忌・金子金治郎博士三回忌記念国際研究集会 6月30日～7月1日

同実行委員会(文学部)との共催。

電子化推進室の設置

附属図書館では電子的な情報サービスを统一的に推進する担当部署として4月1日付けて電子化推進室を設置した。推進室は情報サービス課長を室長とし情報サービス課図書館専門員、情報管理課に新設した電子資料係(1名)、電子情報係(2名)の5名で構成され、電子的な情報サービスの向上に取り組んでいく。

社会教育施設実習の実施

教育学部教育実習の実習生4名(3年次生)を受け入れて、8月1日～7日の期間、附属図書館で教育実習を実施した。実習は図書館各系の業務についての説明と実際に業務を体験するという内容で行われた。この実習は3年間実施し、今年度で終了することになっている。

編集後記

今年の夏は暑い日が連日続いて「猛暑」とか「酷暑」という言葉をよく耳にしました。そのせいかどうかセミの鳴き声がいつもより大きく活発に聞こえたような気がします。

ところでトンボの幼虫は「ヤゴ」、チョウやガの幼虫は「イモムシ」や「ケムシ」とちゃんとした呼び名がありますがセミの幼虫の呼び名は何でしょう？

地方ではそれぞれに呼び名のところもあるようですが「ヤゴ」のように国語辞典に載るような呼び名はあるのでしょうか？

某職場でかつて「せみの出勤簿」をつけていたN氏に聞いてみましたが残念ながらわかりませんでした。

抜け殻には「空蝉」というちゃんとした呼び名があって夏の季語にもなっているくらいなのになぜ幼虫にはちゃんとした呼び名がないのでしょうか？

やはりそれは日陰の生活が長いからでしょうか？

呼び名をご存じの方がおられましたらぜひ図書館までご一報下さい。

広島大学附属図書館「リエゾン」 Vol.27 No.1 2001年9月30日 発行

発行 広島大学附属図書館 〒739 8512 東広島市鏡山1丁目2 2 電話(0824)24 6200

編集 広島大学附属図書館広報委員会